

あれから10年

三河線廃線区間

猿投編



猿投

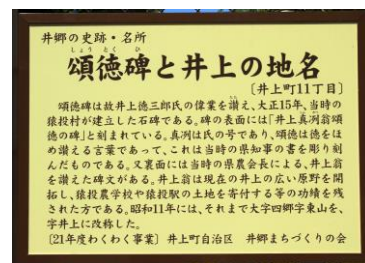
井上徳三郎は、名古屋市出身の実業家で大正元年、猿投村大字四郷字東山一帯の土地 130 町歩を買い「井上農場」を開く。

大正 12 年に寺部の農学校が郡制廃止で経営難となり困窮していたとき、農場の一部を寄贈して現在の県立猿投農林高校を誘致。

また、大正 13 年に三河鉄道を敷設するために奔走し、猿投駅構内の土地 (6000 坪) を寄贈した。

昭和 11 年に井上徳三郎の偉業を後世に伝えるため、猿投村議会の決議で、大字四郷字東山から大字四郷字井上に改められ、現在は豊田市井上町と呼称している。

記録によると大正 14 年 10 月 8 日、猿投駅で足助延長線の起工式が行われ、昭和 4 年 2 月 10 日西中金～追分(井ノ口)間の建設工事に着手したが、陽の目を見ずに昭和 33 年 6 月 27 日に鉄道起業廃止をした。



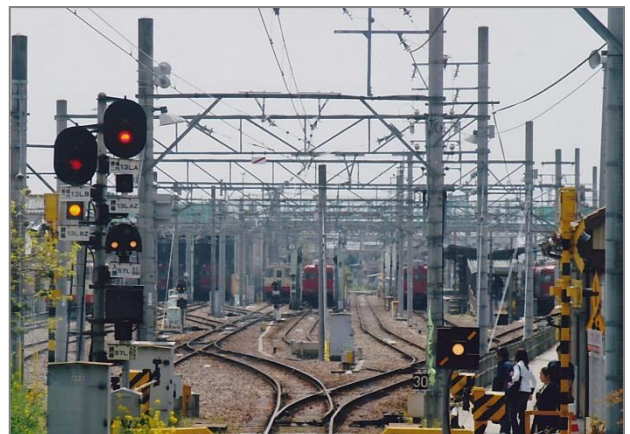
平成 5 年猿投駅舎を解体したとき棟札が発見され、昭和 7 年 11 月 6 日、井上徳三郎が社宅付駅舎を寄贈したことが判明。その証しが、この棟札です。

開業当時、廃車した客車を使用し、中ほどで仕切り待合室と駅事務所に分け使用していたという。

昭和 55 年頃の猿投駅



LE-carや6000たち

















春

夏



秋

冬





梅開花…平成 22 年 2 月 28 日



平成 26 年 3 月 15 日



梅花満開…平成 24 年 3 月 20 日



新緑…平成 24 年 5 月 19 日



1000系…平成19年7月16日



下…1600系…平成20年7月5日





1000系2連8両…平成19年8月9日



7000系…平成20年9月17日



彼岸花…平成24年9月29日



構内風景…平成22年11月26日



木々の黄葉…平成23年11月26日



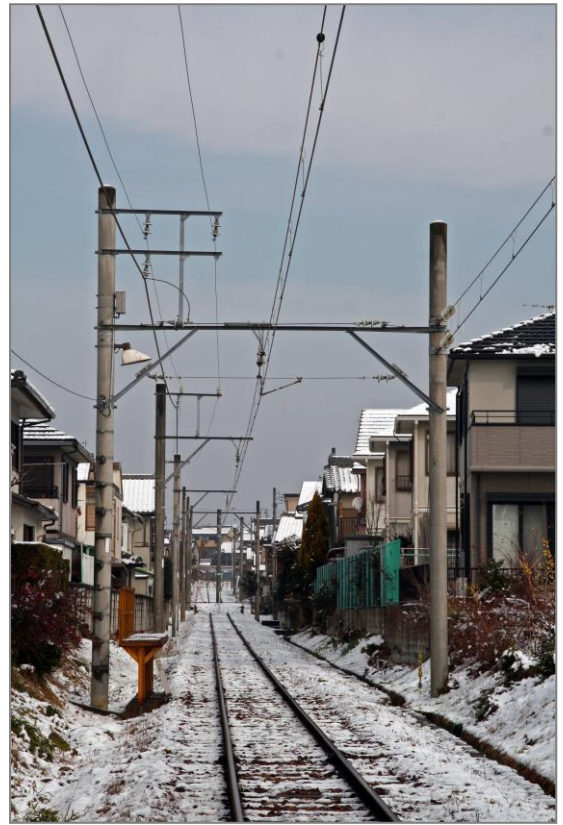
名古屋では 58 年振りの大雪(23 cm)とか…平成 17 年 12 月 19 日



平成 17 年 12 月 19 日

平成 20 年 2 月 10 日





平成 23 年 1 月 17 日



平成 24 年 2 月 2 日



平成 26 年 2 月 8 日





猿投駅前ロータリー完成…平成 25 年 3 月 30 日



